

暴走する日本の軍事化

- ①高江で逮捕された話
- ②辺野古・安和・塩川の現状
- ③宮古・石垣の現状
- ④立石先生が結成した辺野古調査団
- ⑤辺野古の設計変更の問題点
- ⑥あつまれ辺野古の活動
- ⑦沖縄ドローンプロジェクトの活動
- ⑧民衆の闘い（本部港の阻止行動）



辺野古の現状（安和・塩川）



辺野古（埋立区域②-1）



辺野古（埋立区域②）



安和棧橋港内



塩川港沖合い

宮古・石垣の現状



宮古島千代田地区



宮古島保良地区



石垣島平得大俣地区



石垣島平得大俣地区

辺野古調査団結成の経緯と調査の状況



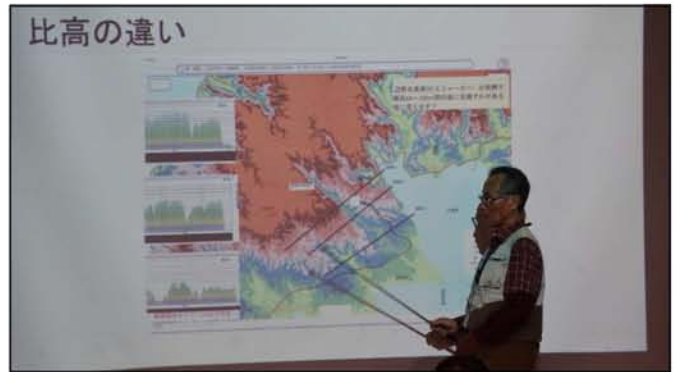
加藤先生講演会 那覇 (2017年12月20日)



加藤先生・立石先生・目崎先生の活断層シンポジウム 那覇 (2018年2月14日)



琉球大学で開催された第22回総合学術研究集会での発表 (2018年12月9日)



辺野古調査の事前打ち合わせ (2018年12月10日)



辺野古調査団の本格的調査 (2019年3月3日)

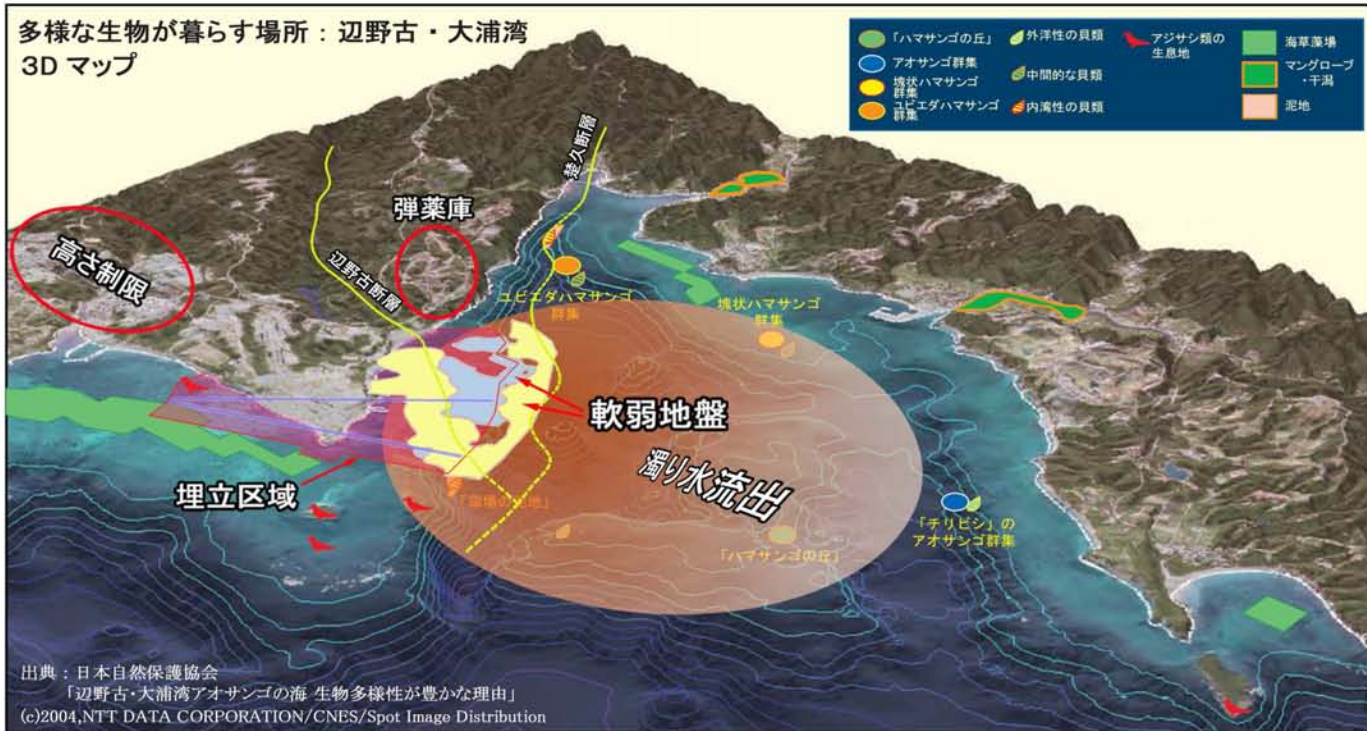


辺野古調査団の本格的調査 (2019年3月3日)

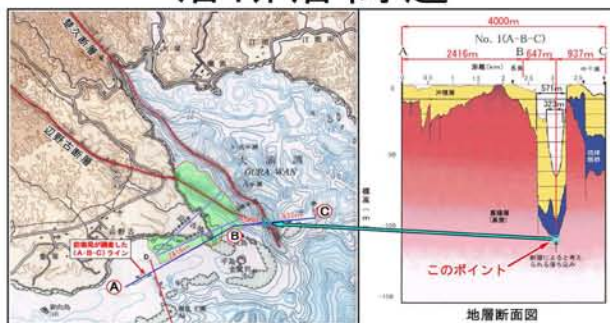


ドローンによるノッチの調査 (2019年4月27日)

辺野古新基地建設の問題点



活断層問題



地質学者加藤先生が作図した断層の想定ラインと防衛局の報告書の地層断面図の関係性

弾薬庫問題



辺野古弾薬庫の両脇に活動性の疑いがある断層が2本存在している

高さ制限問題



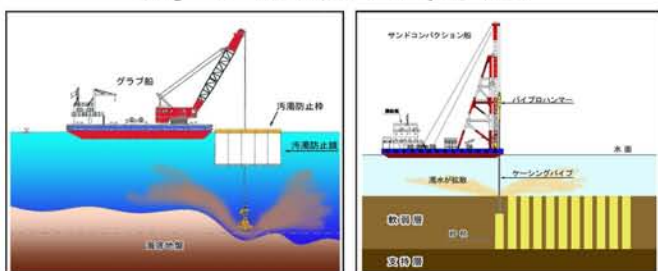
辺野古の滑走路2286mの範囲に、米国の飛行場設置基準を超えた建物が358件ある

軟弱地盤問題



上の図で色分けして着色されている範囲軟弱な地盤で工事は不可能である

濁り水流出問題



今後大浦湾では上の図のような工事が行われ確実に濁り水が発生し環境に甚大な影響を及ぼす

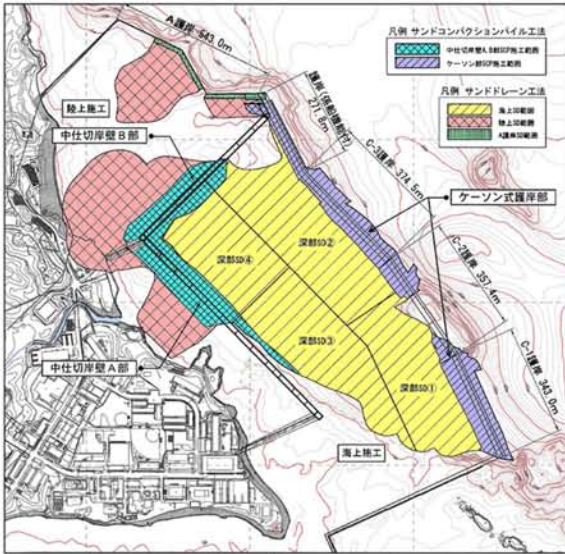
サンゴ移植問題



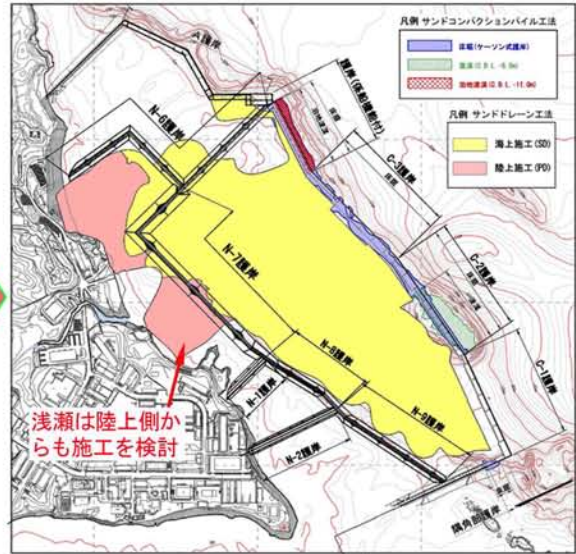
大浦湾には埋め立て工事によって移植対象とされるサンゴが7万8千群体あり知事の許可が必要

辺野古新基地建設設計変更の内容

地盤改良範囲の変更と中仕切り護岸の大幅変更

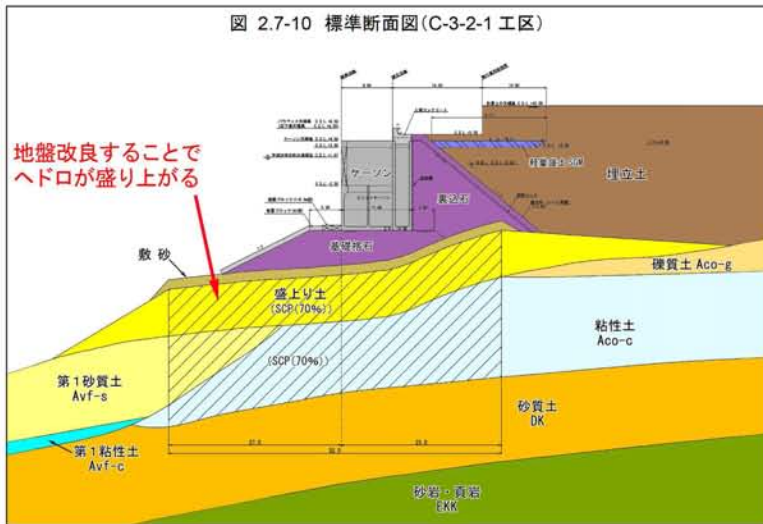


地盤改良工事の施工区分 (2019年1月)



地盤改良工事の施工区分 (2019年12月)

地盤改良の断面図・詳細図



上の図がケーソン護岸の断面図で、地盤改良 (SCP) を行うことでもともとあった軟弱の土砂が盛り上がりそこもまた改良をすることになるが、逃げ場のないヘドロは沖合いに押し出され波の浸食を受けやすい

地盤改良を真上から見た状態

側面から見た形状

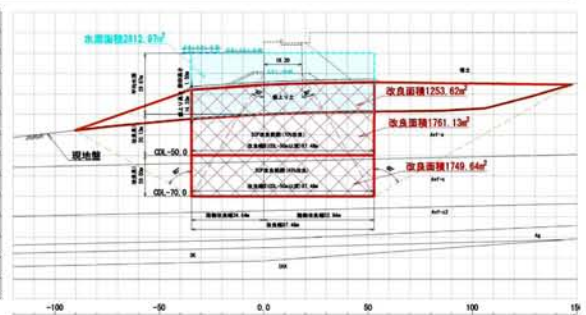
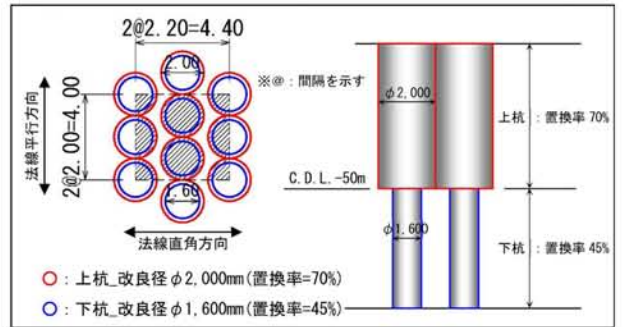


図 2.5-1 SCP 改良断面

第2回技術検討会資料 (資料2)

土砂仮置場となる埋立区域②



護岸を締め切らずに埋立を始める先行埋立



先行埋立平面図

先行埋立施工イメージ図

